

製品名: RFWD3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00385**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 85 kDa; Observed MW: 85 kDa

抗原情報

遺伝子名	RFWD3
別名	FANCW; RNF201
遺伝子 ID	55159
SwissProt ID	Q6PCD5
免疫原	抗血清はヒト RFWD3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 374-423

背景

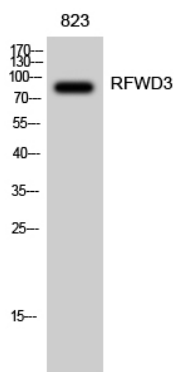
DNA 損傷に対する DNA 鎖間架橋 (ICL) の修復に必要な E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ (PubMed:21504906, PubMed:21558276, PubMed:26474068, PubMed:28575657, PubMed:28575658)。RPA を介した DNA 損傷シグナル伝達および

修復において重要な役割を果たします (PubMed:21504906, PubMed:21558276, PubMed:26474068, PubMed:28575657, PubMed:28575658, PubMed:28691929)。RPA 複合体 (RPA1、RPA2、および RPA3 サブユニット) および RAD51 の停滞した複製フォークにおけるユビキチン化を媒介することで、それらを DNA 損傷部位から除去し、相同組換えを促進する (PubMed:26474068、PubMed:28575657、PubMed:28575658)。また、DNA 損傷に対する後期応答において p53/TP53 のユビキチン化を媒介し、p53/TP53 の安定性を正に制御することで、G1/S 期 DNA 損傷チェックポイントを制御する (PubMed:20173098)。プロテアソームの標的とならない p53/TP53 上の短いポリユビキチン鎖の形成を触媒することで作用する可能性がある (PubMed:20173098)。電離放射線に反応して、MDM2 と相互作用し、おそらくユビキチン化された p53/TP53 上のポリユビキチン鎖の延長を MDM2 が制限することによって、p53/TP53 のユビキチン化を促進します (PubMed:20173098)。

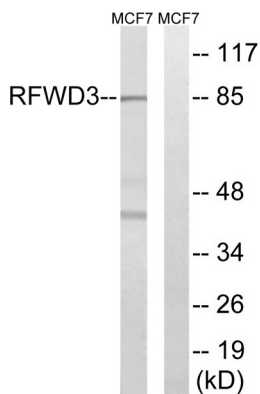
研究分野

-

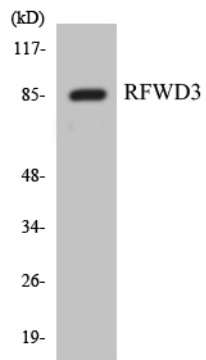
画像データ



RFWD3 抗体を使用した 823 溶解物中の RFWD3 のウェスタンブロット分析。



MCF-7 ライセート中の RFWD3 を RFWD3 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングした。



RFWD3 抗体を使用した HepG2 溶解物中の RFWD3 のウエスタン ブロット分析。